

以下の記載は、表題の診療ガイドラインから漢方製剤に関する記述を抽出したものです。診療において漢方製剤を使用される場合には、必ず、ガイドライン全体をお読みにになり、その位置づけを正しく理解された上で行ってください。

ガイドラインのバージョンは最新のもののみを掲載しています。改定がなされていないガイドラインは、そのまま掲載しています。このガイドラインとその中の漢方の記載を、診療の参考にすべきかどうかの判断は、使用者の責任で行ってください。

咳嗽・喀痰の診療ガイドライン 2025[第2版]

日本呼吸器学会咳嗽・喀痰の診療ガイドライン第2版作成委員会（統括委員長 迎寛 長崎大学
大学院医歯薬学総合研究科呼吸器内科学分野第二内科）
メディカルレビュー社 2025年4月1日発行

Minds 掲載 無

■1 麦門冬湯

疾患:

感染後咳嗽

引用など:

Fujimori K, Suzuki E, Gejyo F. Comparison between Bakumondo-to and Dextromethorphan Hydrobromide in terms of effect on postinfectious cough: a pilot study. *Japanese journal of Oriental Medicine* 2001; 51: 725-32.

有効性に関する記載ないしその要約:

咳嗽治療薬の項の咳嗽治療薬の分類の図中に、下記の記載がある。

『末梢に作用

特異的治療薬: 疾患、病態に応じた治療

非特異的治療薬: 喀痰調整薬、漢方薬、トローチ、含嗽薬、局所麻酔薬』

■2 麦門冬湯

疾患:

COPD

引用など:

Mukaiida K, Hattori N, Kondo K et al. A pilot study of the multiherb Kampo medicine bakumondoto for cough in patients with chronic obstructive pulmonary disease.

Phytomedicine. 2011 :18 :625-9.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『2-9 咳嗽治療薬』の間接的治療薬の項に以下の記載がある

『COPD での非盲検無作為化クロスオーバー試験で、麦門冬湯の 16 週の投与は無治療群に比し投与初期の咳の強度を有意に改善させた』

■3 麦門冬湯

疾患:

感染後咳嗽

引用など:

Irifune K, Hamada H, Ito R. et al. Antitussive effect of bakumondoto a fixed kampo medicine (six herbal components) for treatment of post-infectious prolonged cough: controlled clinical pilot study with 19 patients. *Phytomedicine*. 2011 :18 :630-3.

[EKAT 構造化抄録 \[PDF\]](#)

有効性に関する記載ないしその要約:

『2-9 咳嗽治療薬』の間接的治療薬の項に以下の記載がある

『感染後遷延性咳嗽における非盲検無作為化パラレル試験で、麦門冬湯の追加投与により、非投与群に比し投与 4・5 日目の咳スコアが有意に低下した』

■4 麦門冬湯

疾患:

感染後咳嗽

有効性に関する記載ないしその要約:

『2-9 咳嗽治療薬』の間接的治療薬の項に以下の記載がある

『9 つの無作為化対照試験のメタ解析では、多くの研究で方法論に問題があったものの、感染後咳嗽には古典的鎮咳薬に比し有効性が認められた。』

■5 麦門冬湯

疾患:

COPD. 肺癌術後、喘息など

引用など:

Kim KI, Shin S, Lee N, et al. A traditional herbal medication, Maek-moondong-tang, for cough: A systematic review and meta-analysis. *J E thnopharmacol.* 2016; 178: 144-54.

有効性に関する記載ないしその要約:

『2-9 咳嗽治療薬』の間接的治療薬の項に以下の記載がある

『その他の疾患 (COPD. 肺癌術後、喘息など) では結果は一定しなかった』

■6 麦門冬湯

疾患:

作用機序

引用など:

宮田 他. 麦門冬湯の鎮咳機序. *Modern Physician.* 2006 ;26 1700-2.

有効性に関する記載ないしその要約:

『2-9 咳嗽治療薬』の間接的治療薬の項に以下の記載がある

『本剤には C 線維の抑制を介する機序などが想定されている』

<以上 1~6 の記載として>

備考:

「表 1 成人の咳嗽治療薬」に漢方薬として

半夏厚朴湯、参蘇飲、柴陷湯、竹茹温胆湯、滋陰至宝湯、五虎湯、柴朴湯が非特異的、六君子湯が GERD による咳嗽に、主に特異的に使用される疾患として記載されている

「表 2 咳嗽治療薬の分類」の非特異的治療薬の末梢性薬剤の分類に漢方薬の記載がある

■7 麦門冬湯、麻黄附子細辛湯

疾患:

喉頭アレルギー

引用など:

- 1) 内藤健晴, 馬場 錠, 齋藤正治, 他. 麦門冬湯を使用した持続性咳嗽症例. *漢方と免疫・アレルギー*, 2003;17:54-65.
- 2) 馬場 鍊, 富田 昌, 山川 聡, 他. 咳嗽アレルギーに対する麻黄附子細辛湯の有効性について. *アレルギーの臨床*, 2000;29:988.

有効性に関する記載ないしその要約:

『D-3 喉頭アレルギー』の治療の項に以下の記載がある
『漢方薬の有効性について, 麦門冬湯, 麻黄附子細辛湯についての報告がある。また, 喉頭アレルギーは, さまざまな病態が混在していることが多く, 治療が困難な場合がある。』

■8 六君子湯

疾患:

胃食道逆流症 (GERD)

有効性に関する記載ないしその要約:

『E 胃食道逆流症 (GERD)』の治療の項に以下の記載がある
『酸分泌抑制薬単剤で効果不十分な場合, 併用を考慮する。消化管運動機能の改善効果がある薬剤は, コリンエステラーゼ阻害薬のアコチアミド, 六君子湯, ドーパミン受容体拮抗薬 (イトプリドなど), セロトニン 5-HT₁ 受容体作動薬 (モサプリド), マクロライド系抗菌薬などである。』

前版では「推奨度・エビデンスカテゴリーに関する記載」が設けられていたが、改訂版には推奨度・エビデンスカテゴリーに関する記載は削除された。